

など、負荷は重い。IUGG 大会は、戦後50年間で日本に一度も招請していない。国際的期待も高く、積極的に引き受けるのが得策ではないか。

・準備委員会への拠金の可否

5月16日に、次の準備会が開かれる。気象学研連に割り当てられる上記の分担額、2年間で約40万円を学会として引き受けることの可否を検討する必要がある。大会を招請した場合の負担の可否は改めて検討することとして、常任理事会として、同準備委員会への拠金の引き受けを表明することは承認する。

6. 1996年度事業報告・1997年度事業計画案

1997年度の特徴は、評議員の選定方針の見直し、学術情報センターの電子図書館サービスへの参

加、会員名簿の記載形態の見直しなど。

7. 1996年度収支報告・1997年度予算案

1996年度の収支は、公益事業は約380万円、収益事業は約360万円と、共に黒字。1997年度予算案は6項の事業計画に合わせて作成。

なお、1997年度は公益部門の業務受託はなくすことになっており、約260万円のマイナス要因。

8. 学術会議海洋科学研究連絡委員会の第17期委員候補の推薦依頼 4月16日

同委員会委員長より、標記の推薦依頼があり、常任理事会として、東京大学気候システム研究センターの住明正教授を推すことが合意され、全国理事に諮る。

日本気象学会および関連学会行事予定

行事名	開催年月日	主催団体等	場所	備考
第18回レーザセンシングシンポジウム	1997年 7月 2日 ～ 4日	レーザレーダ研究会	陸別町タウンホール (北海道十勝管内陸別町)	北海道大学電子科学研究所 光電子物性研究分野 川崎昌博, 橋本 訓 Tel. 011-716-2111 (内2408) 橋本 011-706-2896 川崎 Fax. 011-706-4972 e-mail kawasaki@ hikari.hokudai. ac.jp
第9回気象若手夏の学校	1997年 7月18日 ～20日	気象学会若手会	宮城県立泉が丘青年 の家 (宮城県仙台市泉区)	東北大学理学部大気海洋変 動観測研究センター 第9回夏の学校実行委員会
第31回夏季大学	1997年 8月 4日 ～ 6日	日本気象学会	東京大学山上会館 (東京都文京区本郷)	東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内 日本気象学会事 務局 Tel. 03-3212-8341 (2546) Fax. 03-3216-4401
水文・水資源学会 1997年度総会・研究発表会	1997年 8月21日 ～23日	水文・水資源学会	愛媛大学農学部 (愛媛県松山市)	愛媛大学農学部地域開発学 研究室 Tel. 089-946-9882 高瀬 Fax. 089-921-0771
日本気象学会 1997年度秋季大会	1997年10月 7日 ～ 9日	日本気象学会	北海道大学学術交流 会館および百年記念 会館 (札幌市北区)	